



置賜総合支庁ニュース12月号／発行元：山形県置賜総合支庁



～ 鉄道や地域への思いを込め、 高校生が山形鉄道オリジナルのスニーカーをデザイン ～ フラワー長井線利用拡大協議会「ASHIプロジェクト」 4種類のスニーカーデザインが完成！



山形鉄道フラワー長井線沿線の2市2町、県等で組織する利用拡大協議会の呼びかけにより、今年度、沿線市町の5つの高校の生徒16名と南陽市にある革靴製造の宮城興業(株)が連携して開発してきたスニーカー。そのデザインが完成し、11月13日(土)に報道関係者向けの完成披露発表会が開催されました。

プロジェクト名は、高校生の通学の“足”である鉄道と“足”に履くスニーカーの掛け合わせにより命名。フラワー長井線のマイレール意識の高揚を図るとともに、地域の魅力を発信する取組みとして進めてきました。

生徒たちは4グループに分かれワークショップを重ねる中でアイデアを出し合い、沿線地域の「食・うまいもの」や「歴史・文化」、「沿線の季節を彩る花・豊かな自然」、「車窓から見える風景・長井線での旅」をテーマに、高校生ならではの発想を形にしました。

発表会では「盛り込みたいものが多く、まとめるのが大変だった」「この靴を履き沿線に出かけてほしい」等、高校生がフラワー長井線に対する思いや地域への愛着について話してくれました。

今回の取組みではクラウドファンディングで126万4千円ものご支援をいただきました。
今後、スニーカーは愛称「スニてつ」として、2月中旬頃から一般販売の予定です。



スニーカーに込められた思いを感じながら、
フラワー長井線に乗って沿線を巡ってみませんか。

■総務課 連携支援室 電話 0238-26-6019

これまでの取組みの様子は
こちら



ASHI2021.RAILWAY.X.SNEAKER



完成披露発表会の様子はこちら
(高校生がデザインについて説明しています)

置賜の女性たちが オンラインで交流！

11月13日(土)、置賜にゆかりのある女性同士が気軽に交流できる「置賜版オンライン女子会」を開催し、学生や社会人、子育て中の女性など17名が参加しました。

ファシリテーターは合同会社work life shift代表の伊藤 麻衣子さん。

ワークショップでは、EQ(心の知能指数)簡易診断を体験し、職場や家庭で自分らしくあるためのコミュニケーションについて考えました。



交流タイムでは、参加した感想や地元の話で盛り上がり、和やかで楽しい女子会となりました。今後も交流の場を作り、置賜の女性の繋がりを広げていきたいと思ひます。

■子ども家庭支援課 子育て支援・女性青少年担当 電話 0238-26-6027

南陽市立宮内小学校で 出前授業を開催しました



模型を用いて地すべりが起きる仕組みを体験



ドローンのフライトシミュレータ操作を体験

小学生に建設分野の仕事の魅力をってもらうため、日本技術士会山形県支部との共催で、11月12日(金)南陽市立宮内小学校の6年生60名を対象に、「土木のふしぎ、教えます」「災害から命を守る」と題して出前授業を開催しました。

出前授業では、模型を用いて地すべりが起きる仕組みを体験したり、過去に宮内地区で発生した土砂災害の体験談を聞いたり、災害から命を守るための行動などについて考え、学びました。

また、災害現場の情報収集や測量業務等で利用されているドローンについても学び、フライトシミュレータ操作を体験しました。

参加した児童からは『建設の仕事が自分たちの生活を守っていることが分かりました。』との感想もあり、建設分野の仕事の役割や災害への備えについて、理解してもらいました。

これからも、楽しみながら建設分野に興味を持ってもらえるような取組みを推進していきます。

■建設総務課 建設技術・事業調整担当 電話 0238-26-2232

コロナ禍でも社会科見学【綱木川ダム】



綱木川ダムでは、団体で申込みがあれば、スタッフ説明付きのダム見学を行っています。大半は、小学校の社会科見学です。コロナ禍で社会科見学の状況も変わり、大人数のときは時間を分けての説明、施設の中に入る前には手指の消毒、集合写真も一瞬だけマスクを取っての撮影を行っています。

皆さん楽しいようで、ダムの上から下までの階段を降り切って外に出ると、また来たいという子もいます。スタッフもダム見学を楽しんで行っています。

■河川砂防課 ダム管理担当 電話 0238-26-2231

経験豊富な方々の御意見を県政に反映！【知恵袋委員会】

10月28日(木)に、令和3年度山形県知恵袋委員会(置賜地域)を置賜総合支庁講堂で開催しました。

当委員会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い延期となっていたが、感染症対策を講じて開催し、当日は様々な分野で活躍されている6名の委員からご意見を伺いました。

■総務課 企画調整担当
電話 0238-26-6006



委員からは、「アフターコロナを見据えて、東北デスティネーションキャンペーンのような東北全体が連携した取組みを再度行ってほしい。」などの声が寄せられ、その他にも農業や産業経済など各分野の状況を踏まえた意見が出されました。

今回いただいたご意見については、今後の施策を展開する上で参考にさせていただきます。

「知事と若者の地域創生ミーティング」を開催

11月8日(月)川西町で「知事と若者の地域創生ミーティング」が開催されました。このミーティングは、明日の地域創生を考えることを目的として、開催地の首長が進行役を務め、若者と知事が対話を行っているものです。

ミーティングは川西町役場で開催され、中学生1名、高校生2名を含む10～40代の8名の方が吉村知事・原田川西町長と「こうなったらいいと考えていること」や「今取り組んでいること」などをテーマに対話しました。



対話の中では、小松豊年獅子踊りや“むくり鮎”等の郷土文化のほか、ボランティア、雇用環境、起業など多くの話題が出され、終始和やかなムードの中で進行されました。

吉村知事は「川西町はのびのびとした方が多くとても良い所。今日の会合をきっかけに県や社会を考える一歩になれば。」と激励しました。

■総務課 企画調整担当 電話 0238-26-6006

～地域が抱える課題を審議～ 令和3年度置賜地域議員協議会を開催



置賜地域における課題や施策展開に関する調査・審議を行う、置賜地域議員協議会が、管内から選出された8名の県議会議員の出席のもと、11月19日(金)、置賜総合支庁本庁舎において開催されました。

審議に先立ち、安孫子総合支庁長から、新型コロナウイルス感染症への対応状況・地域経済への影響及び主な施策の対応状況、農作物の作柄の概況、主要道路の整備状況等について説明を行いました。

質疑では、ウッドショック対策、新幹線停車駅の利活用、近隣県との連携促進、フラワー長井線の利用促進策など、県政全般について活発な議論が交わされました。

■総務課 企画調整担当 電話 0238-26-6006



先人の偉業に敬意 ～第2回萬世大路を歩く会～

初代県令三島通庸の命を受けて整備が行われ、140年前の明治14年に開通した萬世大路を歩く会が、7月に続いて11月6日(土)に、萬世大路連絡会構成員を対象として開催されました。

出発式では、現在道の駅米沢に移設されている栗子隧道碑記を写した布媒体(高さ3.5m、幅1.35m)の披露が行われ、改めて碑記の大きさに一同感嘆しました。

初代(右)、2代目(左)栗子隧道前の様子



栗子山(大杭甲)を背景として

その後、米沢側と福島側のルートを歩きましたが、これ以上ない好天に恵まれ、足元の落ち葉を踏みしめる音も心地よく、名残の秋の穏やかな1日を参加者44名全員満喫することができました。

今後も、貴重な土木遺産として守っていきます。

■建設総務課 建設技術・事業調整担当
電話0238-26-2232

トピックス

地元の保存活動に感謝 【越後米沢街道 ー黒沢峠ー】

黒沢峠は越後米沢街道・十三峠の一つで、ブナやナラの林間を3,600段の敷石道が続いており、「歴史の道百選(文化庁)」や「未来に伝える山形の宝(山形県)」にも選定されています。

10月に、黒沢峠敷石道保存会事務局長である岡村俊春さんの巧みなガイドに導かれながら、黒沢登り口から市野々登り口までの2.6kmを2時間かけて歩きました。敷石の脇に麻袋の土のうが随所に整備されるなど、地元の方々による地道な保存活動により歩きやすく整然とした敷石道が守られていることを実感しました。

小雨が降り続く今一つの天候でしたが、霧が立ち込める幻想的な雰囲気の中、敷石の苔も色鮮やかに、また、ブナの樹幹流も観察できました。

皆様も是非この身近で静寂に包まれた観光スポットを訪れてみてください。明瞭な四季の移り変わりの中に悠久に在り続ける風雅な古道を堪能できることでしょう。

雨に映える苔が美しい敷石道



■建設総務課 建設技術・事業調整担当
電話 0238-26-2232

西置賜地域の魅力を発信中 「みづはものがたり」 公式Twitterを開設しました！

これまで、西置賜地域振興局では、パンフレット「みづはものがたり」やHPにより、西置賜の魅力を発信してきました。このたび、地域の旬の情報などを発信する「みづはものがたり」公式Twitterを開設し、更なる情報発信に取り組んでいます。

「みづは」とは水の神様のこと。

西置賜は飯豊連峰・朝日連峰に囲まれて、豊富な水が生みだされるところです。西置賜のおいしい「水」、あたたかい「人」、雄大な「自然」などの地域の資源はもちろんのこと、地域のまつりや各種体験イベントなど幅広く西置賜に関する情報をTwitterで発信していますので、ぜひフォローをお願いします！



アカウント名:みづはものがたり
 ツイッターID:@miduha_yamagata
 URL: https://twitter.com/miduha_yamagata



■西置賜総務課連携支援室 電話0238-88-8205

やまがた冬のあった回廊キャンペーン開催！



置賜地域3市5町と上山市では、3月31日まで、「やまがた冬のあった回廊キャンペーン」を開催しています。

今年は西置賜エリアに注目。長井市の商家や酒蔵などを巡るまち歩きや雪板体験、小国町の横川ダムのわかさぎ釣り、白鷹町のスカイランタンフェス、飯豊町の白川湖畔の雪遊び等、ワクワクする新企画をご用意しています。

他にも、米沢牛や銘酒・ワインに代表される美食・美酒、名湯・秘湯、パウダースノーが楽しめるゲレンデでのスキー・スノーボード、スノーパークでの雪遊び等、冬の魅力がいっぱい。米沢牛カタログギフト等豪華賞品が当たるプレゼント企画もあります。

詳しくは、ホームページまたは置賜・上山の道の駅等に設置しているリーフレットをご覧ください。



○ホームページアドレス:<http://attakairou.oki-tama.jp/>

あった回廊

検索

■やまがた冬のあった回廊キャンペーン実行委員会事務局（置賜総合支庁観光振興室内） ☎ 0238-26-6046

置賜総合支庁(本庁舎)に 献血バスが来ます！



医学が進歩した現在でも血液は人工的に造ることも、長期保存しておくこともできません。輸血に必要な血液は多くの方の「献血」によって支えられています。

特に冬季間は輸血用血液が不足する時期でもあり、途切れることなく命をつなぐためにも、献血への皆様のご理解とご協力をお願いします。

☆令和4年1月13日(木)

☆受付時間:9:30~11:30・13:00~15:30

☆受付場所:置賜総合支庁本庁舎1階ロビー



ポチッぽ

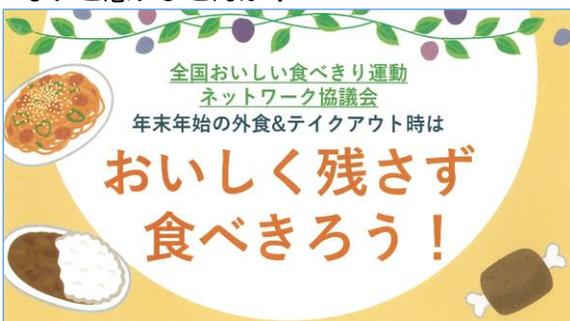
置賜保健所 献血

検索

■ 保健企画課 医薬事担当 電話 0238-22-3872

「おいしい食べきり」 全国共同キャンペーン実施中！(12月~1月)

国内において、まだ食べられるのに捨てられている食品が、年間で570万トンあるとされています。これは、1人1日あたりお茶碗にして約1杯分(約124グラム)もの食べ物を毎日捨てていることに相当します。たいへんもったいないと思いませんか？



※:環境省、消費者庁、農林水産省及び全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会

山形県では環境省等※と共に12月から1月まで「おいしく残さず食べきろう！」を合言葉に、「おいしい食べ物を適量で残さず食べきる」全国共同キャンペーンを実施しています。

みなさんと、少しでも食品ロスを減らしましょう！

■環境課 廃棄物対策担当 電話 0238-26-6034

灯油などの流出にご用心！

油断大敵！冬は、灯油などをこぼしてしまう「油流出事故」が多発します。

その多くは「うっかりミス」によるもの。油の処理費用は原因者の負担となるので、一瞬の気のゆるみが大きな後悔につながります。

《油流出事故を防ぐために》

- ホームタンクから灯油を小分けする際は、その場を離れない！目を離さない！
- ホームタンクや配管に破損や亀裂がないか常に点検を！

流出した油は河川や土壌を汚染してしまいます。油流出事故を防止して、豊かな自然を守りましょう！

- 環境課 環境保全担当 電話 0238-26-6035
- 建設総務課 行政係 電話 0238-26-6008



冬の季節は要注意！ ヒートショックを防ごう

冬は入浴事故が多くなります。要因の一つが**ヒートショック**です。

ヒートショックは、暖かい所から寒い所への移動により、血圧等が急変して起こります。脳卒中や心筋梗塞等を引きおこし、転倒や浴槽で溺れる等命に関わることもあります。特に高齢の方は要注意です。

安全に入浴するために…

- ◆ 脱衣所や浴室を暖める
- ◆ かけ湯をする
- ◆ お風呂の温度は41度以下にし、お湯につかる時間は10分まで
- ◆ 前後に水分補給
- ◆ 入浴前に家族に声かけ



また、**体調不良時、飲酒や食事後、睡眠薬等の服用後、早朝等の入浴は避けましょう。**

入浴は疲れを癒しますが、一歩間違えると命の危険を伴います。お風呂の入り方に注意しましょう。

■保健企画課 健康長寿推進担当 電話 0238-22-3004